

地 域 再 生 計 画

1. 地域再生計画の名称

清流の郷みま再生計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

美馬市

3. 地域再生計画の区域

美馬市の全域

4. 地域再生計画の目標

美馬市は、徳島県の北部中央に位置し、平成17年3月1日に3町1村が合併して新しく誕生した市である。総面積 367.38 平方キロメートル、人口 35,131 人（平成17年4月1日現在）を有し、市の中央部を東西に貫流する吉野川をはじめ、穴吹川や大谷川、鍋倉谷川等の多くの河川が流れ、豊かな自然に恵まれている。

本市では地域振興の一環として、その豊かな自然を活かした様々な事業を展開している。吉野川に隣接して整備された美馬地区の「四国三郎の郷」、大谷川沿いに保存されている脇地区の「うだつの町並み」の整備を県と連携して進め、木屋平地区は西日本第2の高峰剣山、穴吹地区は清流穴吹川による観光PRを展開している。また、穴吹地区の穴吹川は四国の1級河川21河川の中で生物化学的酸素要求量(BOD)の平均値から見ると10年連続で一番きれいな水質であることが国の調査結果から発表されている。今後ともこの清流穴吹川をはじめ、豊かな自然や町並みを永く維持するとともに、四国一という穴吹川の清流を全国的にPRして街の活性化・ブランド化について日々取り組んでいく所存である。

一方、市の人口はほぼ横這いであるが、生活様式が変わるにしたがって未処理の生活雑排水が水路等に流入し、河川の水質に悪影響を与えているため今後の水質の悪化が懸念されている。

この問題に対し本市では、生活排水を処理するために平成6年からは脇地区、穴吹地区等の中心部周辺の農村地域で農業集落排水事業を、平成9年11月からは穴吹地区で特定環境保全公共下水道事業を展開、さらに平成16年からは新たに美馬地区で農業集落排水事業を始めているが、合併処理浄化槽と合わせて平成16年度末の汚水処理人口普及率は全国平均79.4%に対し25.6%と大きく下回っており、

依然低迷している状況である。

このため、平成18年を「清流の郷みま」(仮)の再生元年と位置付け、汚水処理施設を一層強力に推進し、吉野川をはじめとして穴吹川、大谷川等の清流を保全・再生することにより、昔のような子供から大人までが遊べる美しい川づくりを目指していく。また、「四国三郎の郷」、「うだつの町並み」、イベント「穴吹川筏下り大会」を活用したPRにより観光客を誘致するとともに、これら観光資源に関連する雇用を確保し、美馬市内の各地域の再生を図る。

(目標1) 汚水処理施設の整備の促進(汚水処理人口普及率を25.6%から35%に向上)

(目標2) 四国三郎の郷、うだつの町並み、穴吹川筏下り大会を活用したPRにより観光客を誘致するとともに雇用を確保。(観光客年間45万人、50万人、新規常勤雇用15名)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

美馬市は、豊かで美しい河川を観光資源の一つとしているため、水資源を守ることは環境保全のみならず美馬市の発展に大きく関係しているといえる。美馬市の汚水処理施設整備事業は、公共下水道・農業集落排水・浄化槽の3手法があり、組み合わせながら実施している。

公共下水道については、各家庭の接続率はまだまだ低く、今後もさらに整備、加入促進を図っていくつもりであり、農業集落排水については平成21年の供用開始にむけて取り組んでいく予定である。浄化槽については公共下水道・農業集落排水認可区域以外を対象とし、年間100基程度を合併処理浄化槽とするように普及促進に努めていく。

これらの汚水処理事業に加え、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あるまちづくりをすすめるため、都市再生整備計画により観光スポットの拡大等に努めていく。また、観光拠点施設のイベント開催とあわせて、河川をテーマとした「清流の郷みま」の周知・啓発活動などに取り組み、観光客の誘致等も推進していく。

5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 汚水処理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。

なお、整備箇所等については別添の整備箇所を示した図面による。

- ・公共下水道・・・平成9年11月に事業認可(平成17年3月変更認可)
- ・農業集落排水・・・平成16年4月に事業認可

[事業主体]

- ・いずれも美馬市

[施設の種類]

- ・公共下水道、農業集落排水、浄化槽（個人設置型）

[事業区域]

- ・公共下水道 美馬市穴吹処理区
- ・農業集落排水 美馬市美馬地区喜来
- ・浄化槽 美馬市全域（公共下水道・農業集落排水認可区域以外の美馬市全域）

[事業期間]

- | | |
|--------|-------------|
| 公共下水道 | 平成19年度～20年度 |
| 農業集落排水 | 平成19年度～20年度 |
| 浄化槽 | 平成18年度～20年度 |

[整備量]

- | | |
|-------------|-------------------|
| ・公共下水道 | 管渠 100～300 4,000m |
| | ポンプ施設 一式 |
| ・農業集落排水 | 管渠 100～200 4,000m |
| | 処理場 1箇所 |
| ・浄化槽（個人設置型） | 300基 |

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。

公共下水道 穴吹処理区で800人、浄化槽 美馬市全地区で800人
（農業集落排水 美馬地区喜来は平成21年度より供用開始予定。新規処理人口1,250人を目指す。）

[事業費]

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| 公共下水道 | 事業費 400,000 千円（うち、交付金 200,000 千円） |
| 農業集落排水 | 事業費 828,000 千円（うち、交付金 414,000 千円） |
| 浄化槽（個人設置型） | 事業費 118,422 千円（うち、交付金 39,474 千円） |
| 合計 | 事業費 1,346,422 千円（うち、交付金 653,474 千円） |

5 - 3 その他の事業

河川の清掃

合併前の旧町村時代には時期もばらばらで行われてきた河川清掃を統一して年1回程度実施し、地域一帯の運動へと展開して自然環境の整備を進める。

穴吹川筏下り大会の開催

市内を南北に流れる穴吹川は水質四国一で市の誇りであり、大人から子供まで美しい水とふれあう貴重な機会である。美馬市の夏の一大イベントとして定着した筏下り大会をとおして、穴吹川の清流を再認識するとともに魅力あるふるさとづくりを推進することを目的とする。

地域の特性を活かした個性あるまちづくり

都市再生計画により、観光・リゾートタウンとして「うだつの町並み」等を核とした観光スポットの拡大や景観の保存に努めていき、地域の特性を活かした個性あるまちづくりを進めていく。

6. 計画期間

平成18年度～20年度

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

美馬市は速やかな水洗化を進めるため、工事中からの普及促進に努めるとともに、計画終了後4に示す数値目標に照らし状況を調査・評価し、公表する。

整備された污水处理施設については、水質検査・維持管理等が適切に行われているか把握し、適切な措置をとるようにする。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

污水处理施設整備計画については、最新のデータに基づいて施設計画を再検討したものであり、污水適正処理構想については、合併前の3町1村の時代である平成16年度に策定を完了し改訂作業が進められている「徳島県污水適正処理構想」(都道府県構想)に反映されることとなっている。